

様式第2号（第5条関係）

令和2年11月26日

出張報告書

栗山町議会議長 鵜川和彦 様

栗山町議会議員 鵜川和彦



このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 令和2年11月5日～令和2年11月6日
- 2 旅行先 東京都 アットビジネスセンター池袋駅前本館
- 3 目的 人口減少時代における自治体議会の役割セミナー受講
自治体議会の危機管理セミナー受講
- 4 関係書類 別紙のとおり



議員・職員のための

新型コロナ禍・人口減少に 自治体議会としてどう立ち向かうか in 東京

オンラインによる
セミナーも
受講出来ます。

11月6日(金)10:00~13:00

人口減少時代における 自治体議会の役割

1. 深刻な人口減少社会・少子高齢化
2. 分権時代の自治体議会
3. 議会改革の動向と政策形成
4. 自治体議会と首長
5. 深刻な「なり手不足」と議員報酬・定数
6. 自治体議会と住民参加
7. これからの自治体議会

11月6日(金)14:00~17:00

自治体議会の危機管理 ～新型コロナ禍等への対応～

1. 頻発する激甚災害と地域社会
2. 東日本大震災と自治体議会
3. 危機管理政策の構築に
向けた議会の役割
4. 議会が果たす災害時の役割
5. 議会BCPの策定と課題
6. 新型コロナ対策と自治体議会
7. 災害時だから求められる
議会の役割を問い直す



講師 牛山 久仁彦【明治大学政治経済学部教授】

中央大学法学部法律学科卒業、明治大学大学院、明治大学助教授等を経て、2006年より現職。専門は、行政学、地方自治論。中央大学法学部・日本大学法学部・日本女子大学人間社会学部兼任講師、日本学術会議連携会員、日本政治学会理事、日本行政学会理事、日本地方自治学会理事。神奈川県総合計画審議会副会長、東京都中野区区民公益活動推進委員会委員長、愛知県岡崎市市民協働推進委員会委員長、茨城県境町戦略会議委員長なども務める。編著書に、『自治・分権と地域行政』（近刊）『自治体議会の課題と争点』、『広域行政と自治体経営』など。

(株)地方議会総合研究所

お申込みはホームページからお願いいたします。

議会総研

検索

※ホームページからお申込みいただけない場合は、
下記FAX申込書にご記入の上、事務局宛にお送り下さい。

<https://www.gikaisoken.jp>

FAX 申込書 ➡ 03-6912-2280

参加されるセミナーのチェックボックスに
☒ をお願いいたします。

フリガナ	ウカワ アスヒコ
お名前	鵜川 和彦
貴議会名	栗山町議会
領収書 お宛名	鵜川 和彦
ご住所	(〒069-1512) 北海道夕張郡栗山町 松岡3丁目252番地
TEL	(0123) 73 - 7517
FAX	(0123) 72 - 1233
E-mail	gikai - shirakawa@town.kuriyama. hokkaido.jp



11月6日(金)10:00~13:00 東京

人口減少時代における自治体議会の役割



11月6日(金)14:00~17:00 東京

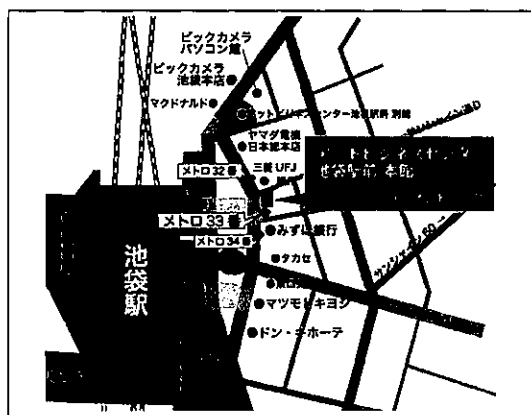
自治体議会の危機管理
～新型コロナ禍等への対応～

※オンラインによる受講をご希望される方は、
チェックボックスに☒をお願いいたします。

☐ オンライン受講

※オンライン受講ご希望の方は必ずE-mailをご記入下さい。

受講料は受講確認書到着後、事前にお振込をお願いいたします。★キャンセルは7日前までにメール又はFAXにてご連絡下さい。
お申込み後、事務局から受講確認書をメールまたはFAXにてご送付させていただきます。受講確認書をご覧いただき、
事前に口座にお振込をお願いいたします。※ホームページでのお申込の方がスムーズに対応できます。



会場—アットビジネスセンター池袋駅前本館
501号室

受講料

各講座 15,000円(税込)

2講座受講 25,000円(税込)
(連続した講座に限る)

開催場所 アットビジネスセンター池袋駅前本館

JR山手線、埼京線、東武東上線、西武池袋線

地下鉄丸の内線/有楽町線/副都心線

池袋駅東口地下鉄32番出口 徒歩10秒

「お問い合わせ・事務局」

※各会場の詳細地図は、当研究所ホームページのセミナー会場に掲載しておりますのでご覧下さい。

(株)地方議会総合研究所

〒112-0011 東京都文京区千石2-34-6 TEL 03-6912-1930 FAX 03-6912-2280

日 時	令和 2 年 11 月 6 日 10:00～13:00
視 察 先	東京都（アットビジネスセンター池袋駅前本館）
調 査 事 項	人口減少時代における自治体議会の役割
対 応 者	講師 牛 山 久仁彦
1. 視察目的 2. 視察内容 ① 背 景 ② 特 徴 3. 主な質疑 4. 考 察 （感想、政策 提言、課題な ど）	牛山先生は、全国町村議会議長会とかの研修で、良くお話を きいています。牛山先生は、愛知大学に4年程いて、明治大学に 20年程いて、昨年まで、日本学術会議のメンバーであった有名な 先生です。スカート部の部長やっていて、釧路で転んで怪我して 入院した話を楽しそうにしていました。 今回の研修では、今、議員報酬と定数について自分の考えてい ることを、先生に質問したくて参加しました。 私が、質問した内容は①議会費が予算の1款である以上、聖域 ではないということ。 したがって全体にシーリングかけた場合、当然議会費もシーリ ングかけるべきである。 そして、②栗山町議会の場合、年収3,000,000円程である。 元々、町村議会議員は、市議会議員と違って年収が極端に低いの で、兼業が原則ではないか？専業してやるのは、無理だと思う。 また、3,000,000円の年収にしがみついてでてくる人は、志が凄 い高い人か、能力のない人しかこないのではないかと質問をし た。 ①聖域でないとは、同意して頂けたが、大賛成では、なかっ た。 ②低い年収だど良い人材が集まらないことには、同感のような 感じでした。

日 時	令和 2 年 11 月 6 日 14:00～17:00
視 察 先	東京都（アットビジネスセンター池袋駅前本館）
調 査 事 項	自治体議会の危機管理～新型コロナ禍等への対応～
対 応 者	講師 牛 山 久仁彦
1. 視察目的 2. 視察内容 ① 背 景 ② 特 徴 3. 主な質疑 4. 考 察 （感想、政策 提言、課題な ど）	全体の質問の中で、斎藤義崇議員の定数と報酬の考え方について質問した。定数を2減10人にして町民委員を参加させる。 常任委員会に4人ずつ参加させ、討議に参加させるが、表決権は、与えない。 そうすれば、熟議の精度は、落ちないと考えている。 しかしながら、定数減を前提としてではなく、住民参加を先にすべきと考える。 しかし、定数減に反対する議員は、定数減前提に住民参加させるという考えになるかもしれません。 それから、定数、報酬の問題を考える時、その時の町村の状況で上げても下げても良いと思う。一度下げたら、上げられないということはないと思う。 我々は、町民益を考えて選挙に出て当選しているつもりである。議会益や職員組織益や、一部ステークホルダーの益のために議員をやっているわけではない。 どういう結論を出せば町益になるのか、我々の資質が問われると思う。このことも牛山先生によくきいた。 今回の研修でBCP関連では、色々な事例を挙げられたが、特に茨城県境町の事例が面白かった。 また、自衛隊の連携についても、最悪を想定して、日頃からやっておくのも重要であると思いました。